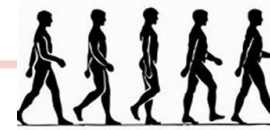


# 下肢 rTMS治療について



## 理学療法内容

## 歩行再建メニュー

### 1, 歩行練習



### 2, 体幹運動練習



### 3, 下肢運動練習



### 4, 電気刺激療法



身体機能に合わせたメニューを**チーム**で協議して最適な練習を選択します。

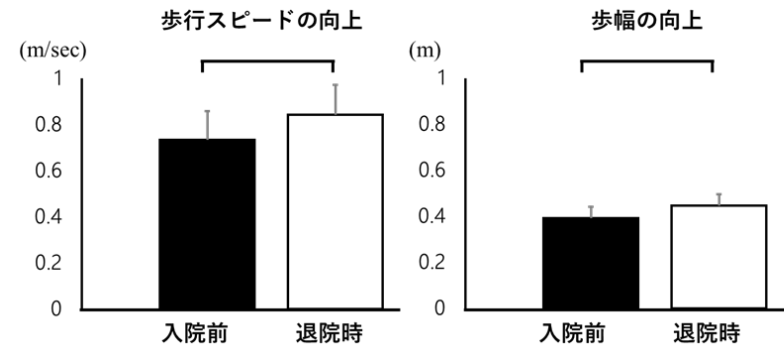


## 取り組み



個々に合わせた自主トレーニング冊子の提供

## 実績



下肢機能・歩行能力の向上が期待できる

## 当院における治療件数

2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
3件	6件	8件	5件	5件	6件	5件

# ボツリヌス療法

## ボツリヌス療法とは

- ・痙縮を認める筋に対して筋弛緩効果による ①疼痛軽減 ②拘縮予防 ③衛生面改善を見込むことができる治療法。
- ・2021年脳卒中治療ガイドラインの痙縮に対するリハビリテーションにおいて有効性が示されている。
- ・当院の下肢における治療件数（2019年度：33件、2020年度：43件、2021年度：46件、2022年度：65件）

## 取り組み

### 個別理学療法



### 自主ストレッチ指導

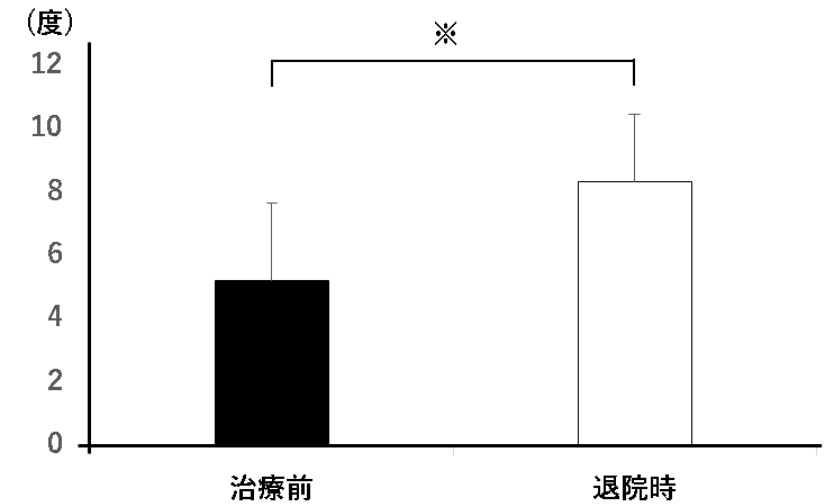


### 手帳の提供



## 実績

### 足関節可動域（柔らかさ）の変化



n = 24, p < 0.05

足関節の可動域改善が期待できます。

当院医療スタッフだけでなく、ご本人やご家族のご意見・ご要望に寄り添った治療を目指します。

# 機能的電気刺激 (FES ; Functional Electrical Stimulation)

## 機能的電気刺激とは

- ・末梢神経を刺激して筋を収縮させることで、その筋の随意性及び消失した機能を代償させる治療法。
- ・2021年脳卒中治療ガイドラインの歩行障害に対するリハビリテーションにおいて有効性が示されています。
- ・理学療法士が対象者の身体機能に合わせて最適な電気刺激を行い、運動麻痺や歩行能力の改善などが見込めます。

## 取り組み

### 使用機器



DRIVE  
(DENKEN)

### 立ち上がり練習



### 歩行練習



## 症例紹介

股・足関節の筋肉を同時刺激しながら歩行練習すると、歩行時の姿勢や速度の改善などが得られました。

### 10m歩行テスト (歩数)

治療前	治療後
0.39m/s (29歩)	0.45m/s (24歩)

【治療前】



【治療後】



刺激部位に電極を貼り、訓練時に使用します。  
2チャンネルを同時または独立して選択的に刺激可能です。